

平成25年度 事業報告書

1. 研究助成事業 29,176千円
- (1) がん研究助成(公募) 23,900千円
- 第46回がん研究助成審議会の審査を経て次のとおり研究助成金を贈呈した。
- | | | |
|-------|-----|------------|
| 一般課題A | 10名 | (1課題100万円) |
| 一般課題B | 10名 | (1課題50万円) |
| 特定課題 | 4名 | (1課題200万円) |
| 指定課題 | 1名 | (1課題90万円) |
- (2) 海外派遣研究助成(公募) 5,276千円
- がんに関する国際会議、国際学会への出席者30名に対し、海外旅費等の助成を行った。
- | | |
|-------|-----|
| アメリカ | 15名 |
| ヨーロッパ | 12名 |
| その他 | 3名 |
2. 関係団体助成事業 1,300千円
- UICC(国際対がん連合)等の事業に対して協力助成を行った。
3. 技術者研修助成事業(公募) 2,500千円
- 看護師、診療放射線技師、薬剤師、臨床検査技師等コメディカルスタッフ10名に対し、海外研修等の助成を行った。
4. 第3次対がん総合戦略推進事業(国庫補助事業) 171,665千円
- (1) 外国人研究者招へい事業(公募) 0
- (2) 日本人研究者等派遣事業(公募) 0
- (3) 若手研究者育成活用事業(リサーチ・レジデント制度)(公募) 147,537千円
- 若手研究者をリサーチ・レジデントとして採用し、第3次対がん総合戦略研究に参画させ、将来のがん研究の中核となる人材育成を行った。

リサーチ・レジデント採用 30名

(4) 研究成果等普及啓発事業 24,128千円

国際がん研究シンポジウム・国際がん看護セミナーの開催や第3次対がん総合戦略研究の研究成果発表会を研究者向け及び一般向けにそれぞれ開催した。

また、研究の成果を国民にフィードバックするため、各種情報媒体を活用し、がんの普及啓発に努めた。

① 国際がん研究シンポジウム開催事業

米国及びその他の先進諸国から、著名ながん研究者を招き、国内外の研究者による「第26回国際がん研究シンポジウム」を開催し、最新の研究情報・医療技術情報の交換を行い研究の推進を図った。

テーマ 世界のがん研究は今
～次期対がん戦略に向けた課題～
開催日 平成25年11月26日(火) ～ 27日(水)
会場 国際研究交流会館

② 国際がん看護セミナー開催事業

がん患者とその家族を支えるがん看護の向上を図るため、国内外のがん看護関係者による「第14回国際看護セミナー」を開催した。

テーマ 高齢者のがん
“その人らしさを支えるがん看護と研究”
開催日 平成26年2月28日(金) ～ 3月1日(土)
会場 国際研究交流会館

③ 研究者向け成果報告会の開催

開催日 平成26年2月19日(水) ～ 20日(木)
会場 国際研究交流会館

④ 第6回市民公開講演会の開催

テーマ 発がん機序からがん予防まで
～研究成果と課題～

開催日 平成 26 年 3 月 29 日 (土)
会 場 国際研究交流会館

⑤ がん関連パンフレットの作成

5. がん臨床研究推進事業 (国庫補助事業) 3, 6 1 3 千円

(1) 外国人研究者招へい事業 (公募) 5 2 7 千円

がん研究プロジェクトに外国の優れた研究者を招へいし、国内の研究機関において国際共同研究を行った。

アメリカ 1 名

(2) 日本人研究者海外派遣事業 (公募) 6 4 4 千円

がん研究者を外国の大学に派遣し、がん研究に従事させ、その成果をプロジェクト研究に活用した。

オーストラリア 1 名

(3) 若手研究者育成活用事業 (リサーチ・レジデント制度) (公募)

2, 4 4 2 千円

若手研究者をリサーチ・レジデントとして採用し、第 3 次対がん総合戦略研究に参画させ、将来のがん研究の中核となる人材育成を行った。

リサーチ・レジデント採用 1 名

(4) 研究支援者活用事業 (公募) 0

6. 広報活動事業 (財団法人 日本宝くじ協会助成事業) 2 7, 8 4 5 千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、都道府県、市区町村、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

(冊子名)

○～がんとどう付き合うか～ みんなで考えよう乳がん 1, 4 3 4 千部

○～やさしいがんの知識～ 予防できる子宮頸がん 1, 4 3 4 千部

○～やさしいがんの知識～ 予防できる大腸がん 1, 4 3 4 千部